

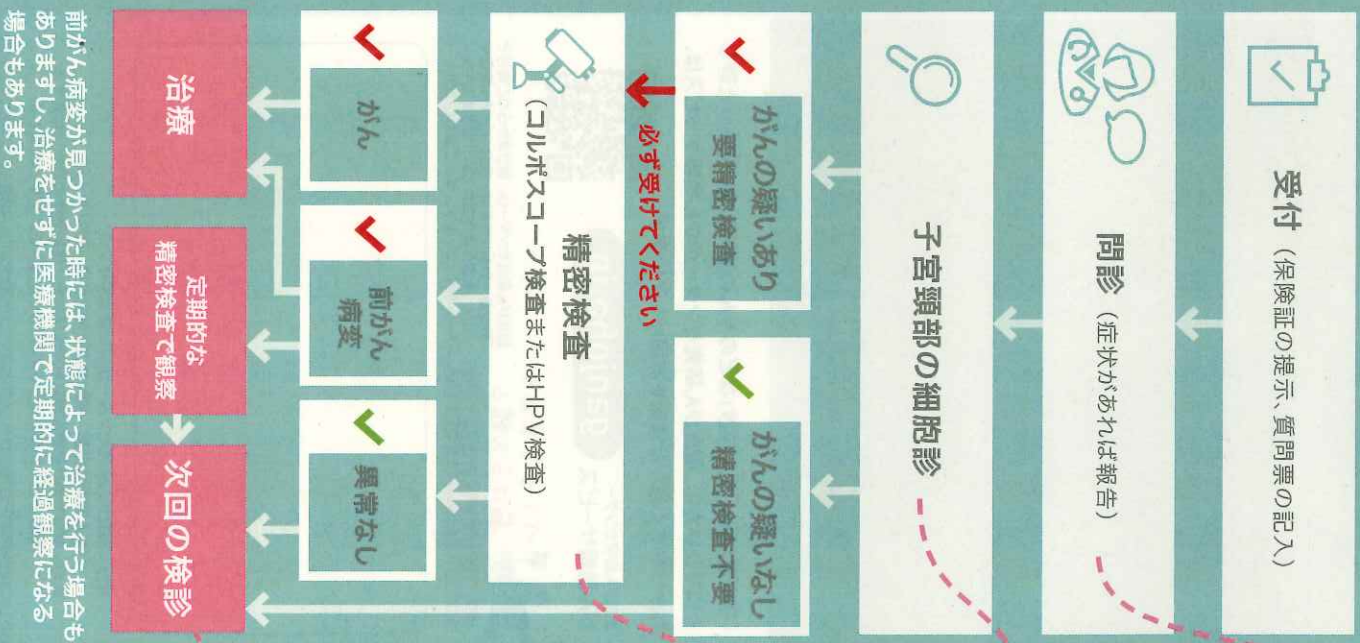
子宮頸がん検診を受ける前に...

子宮頸がんは罹患する人(かかる人)がわが国の女性の中でも比較的多く、また30-40歳代の女性で近年増加傾向にあります。自治体で推奨している子宮頸がん検診(子宮頸部の細胞診)は「死亡率、罹患率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。早期発見、治療で大切な命を守るために、20歳以上の女性は2年に1度定期的な検診を受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしてください。

すべての検診には「テメリット」があります。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、検査では見つけにくいがんもありますので、すべてのがんががん検診で見つかるわけではありません。また、がんでなくとも「要精検」と判定されることもあります。子宮頸がんは前がん病変も検診で見つけられるのですが、この中には放置しても治療してしまうものも多いために、結果的に不必要な精密検査や治療を受けなければならぬ場合もあります。さらに、検査によって出血などが起こることがあります。

しかし、子宮頸がん検診はこれらの低い確率で起こるテメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐテメリットが大きいことが証明されているため、必ず定期的に受診してください。

子宮頸がん検診の流れ



気になる症状がある場合

月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など、気になる症状がある場合は問診の際に医師に必ずお伝えください。不正出血が疑われる症状がある場合は自治体の検診を待たず、すぐに婦人科を受診してください。また現在婦人科を受診し経過観察中の方は自治体の検診ではなく、引き続き受診中の主治医の指示を受けてください。

子宮頸部の細胞診

子宮頸がん検診は子宮頸部(子宮の入り口)を、先にガラスのついた専用の器具で擦って細胞を取って、がん細胞など異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査です。
*月経(生理)中は避けて検査を受けてください。



精密検査はコルポスコピー検査(またはHPV検査)

細胞診で異常が発見されたらコルポスコピー検査で詳しく調べます。コルポスコピー(腔拡大鏡)を使って子宮頸部を詳しく見ます。異常な部位が見つければ、組織を一部採取して悪性かどうかを診断します。また細胞診の結果によってはHPV検査(子宮頸がんを引き起こすウイルスの有無を調べます)を行い、コルポスコピー検査が必要かどうかを判断することもあります。



検診は20歳以上、2年に1度定期的な受けることが大切です

子宮頸がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見のために必ず2年に1度、定期的な検診を受けてください。推奨している受診年齢や受診間隔を守らないと、検診の「テメリット」が大きくなってしまいます。

これから受ける検査のこと 乳がん検診

乳がんについて

- ✓ わが国では女性のがんの中でも罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ✓ 検診を受けることでがんによる死亡リスクが減少します。
- ✓ 検診は2年に1度、定期的に受けて下さい。ただし、しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液がでる、乳頭の湿疹やたれなどの症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- ✓ 検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。
- ✓ 精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。
- ✓ 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのにそのがんが見つけられない場合もあります。
- ✓ 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有されます。[※]

※精密検査の結果は市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

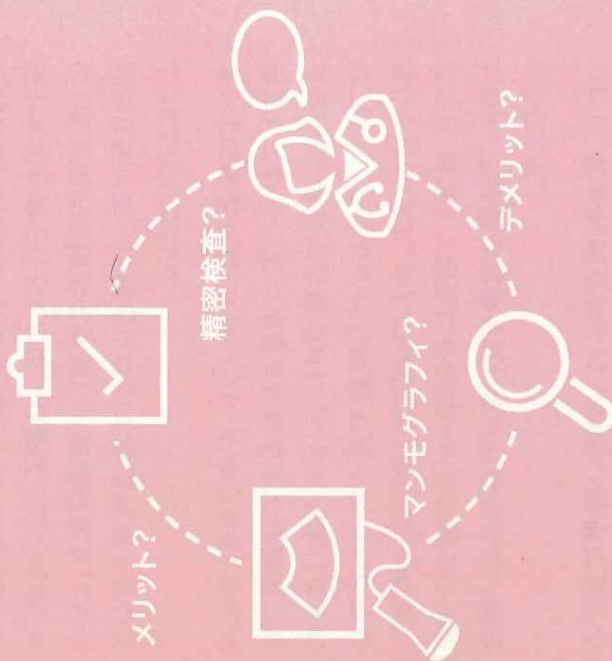
「乳がん」「がん検診」などのがんの情報についても詳しく知りたい方に、国立がん研究センターのがん情報サービスは、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

国立がん研究センター
がん情報サービス

ganjoho.jp



国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で「確かな・わかりやすい・役立つ」がん情報をつくり、全国の図書館などにお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。



発行：国立がん研究センターがん対策情報センター
がん医療支援部 検診実施管理支援室 2021年4月
協力：厚生労働行政推進調査事業費補助金「検診効果の最大化に資する
領域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班

乳がん検診を受ける前に...

乳がんは罹患する人(かかる人)がわが国の女性の
 がんの中でも多く、がんによる死亡原因の上位に位
 置するがんです。自治体で推奨している乳がん検診
 (マンモグラフィ)は「死亡率を減少させることが科
 学的に証明された」有効な検診です。早期発見、治
 療で大切な命を守るために、40歳以上の女性は2年
 に1度定期的に検診を受診し、「要精密検査」という
 結果を受け取った場合には必ず精密検査を受ける
 ようにしてください。

すべての検診には「デメリット」があります。がんは
 発生してから一定の大きさになるまでは発見でき
 ませんし、検査では見つけにくいがんもありますの
 で、すべてのがんががん検診で見つかるわけでは
 ありません。また、がんでなくても「要精検」と判定さ
 れたり、放置しても死に至らないがんが見つかった
 ために、不必要な治療を受けなければならない場合
 もあります。

しかし、乳がん検診はこれらの低い確率で起こる
 デメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリット
 が大きいことが証明されているため、必ず定期的に
 受診してください。

乳がん検診の流れ



気になる症状がある場合

マンモグラフィでは見つけにくい乳がんもあります。早期
 の乳がんは自覚症状がないことが多いですが、しこり、乳房
 のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれ
 など気になる症状がある場合は問診の際に医師に必ずお伝
 えください。症状がある場合は、自治体の乳がん検診を待た
 ず、すぐに乳腺外来のある医療機関を受診してください。

マンモグラフィ

マンモグラフィは小さいしこりや石灰化
 を見つけることができます。乳房を片方
 づつガラスチップの板で挟んで撮影しま
 す。乳房が圧迫されるため痛みを感じる
 こともあります。また放射線被曝による健康被害
 はほとんどありません。

●精触診検査は推奨されていませんが、マンモグラフィとの併用により、視触診検査が行われる場合があります。

精密検査について

マンモグラフィ追加撮影
 疑わしい部位を多方面から撮影します。
 乳房の超音波検査
 超音波で、疑わしい部位を詳しく観察します。
 細胞診、組織診
 疑わしい部位に針を刺して細胞や組織を
 採取し悪性かどうか診断します。



検診は40歳以上、2年に1度定期的に受ける ことが大切です

乳がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見
 のために必ず2年に1度、定期的に検診を受けてください。
 推奨している受診年齢や受診間隔を守らないと、検診の
 「デメリット」が大きくなってしまいます。

がん対策推進企業アクション

無料でも、ここまでできる会社のがん対策！
「がん対策推進企業アクション」に登録しましょう。



社内掲出用のポスターを無料でプレゼント



推進パートナー登録証をお送りします



企業同士の情報交換オンライン会議の様子



特別講師によるオンライン・オフライン無料研修



毎月最新の情報をNewsとしてお届け



YouTubeでも議長の中川先生が講義



がん対策の積極推進企業には表彰制度あり



パートナー登録で中川先生監修の「がん教育eラーニング」を何名でも無料で受講できます！

▶ がん対策推進企業アクションとは？

厚生労働省が実施する各種対策の中で、職域がん対策に特化した国家プロジェクトです。東京大学の中川先生をアドバイザー・ボードの議長として、令和5年で15年目を迎え、現在では規模を問わず約5,000の企業・団体がパートナー登録しています。登録・月額など費用は一切かかりません。

▶ なぜ企業が「がん対策」？

2人に1人ががんになると言われている、がん大国である日本において、定年の延長や女性の社会進出を背景として、「働く世代」でがん罹患する方が増えています。これは企業経営においても見過ごすことの出来ない重要な問題であり、職域がん対策については、様々な対策の整備も進んでいます。

▶ 登録したらどんなメリットがあるの？

eラーニングの利用、研修会や意見交換会への参加、YouTube動画などの啓発ツールの活用など、様々なコンテンツが無料でご利用いただけます。また医師・専門家による最新情報も毎月お届けします。ぜひ大切な社員をがんから守るため「がん対策推進企業アクション」へご登録ください。

ホームページの登録フォームから送信

申請書を印刷し、事務局へ郵送ください

事務局から登録証やポスターなどが届きます

登録完了



がん対策推進企業アクション事務局

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町4-8 南平台アジアマンション208

tel.03-6281-9094

企業アクション

検索

